

## 65. 学校に行かない子への接し方

**【問い】** 「成績が下がるのでは…」と不安がって2学期から学校へ行っていない。一時は物を投げる、燃やす、暴れるなど、気が狂ったようでした。今は家に閉じこもりっきりです。

**【答え】** お手紙から察しますと、登校拒否の第3期症状のようです。登校拒否の進行状況は、第1期が心気症の段階で、登校時になると頭痛や腹痛を訴え、昼ころから元気になる。第2期は攻撃的段階で、登校をすすめる親に乱暴したり家具をこわしたりする。第3期は内閉的段階で、昼ころ起き出し、夜おそくまで起きているなど昼と夜をとりちがえてしまう…という経過をたどっていくのが普通です。

お宅の場合、第3期に入ったので長期化しそうです。本人は成績を気にしているようですから、タイプとしては優等生の息切れ型のようなようです。1学期はかなりの成績でしたが、その位置を再び確保できるか、転落しないかなど不安のため学校へ行けないということです。根本的には、これらの不安に耐え、困難を克服していく力が身につけていないことが問題になります。これは永年の過保護、でき愛などが原因でしょう。

今後の取り組みとしては、これまでの過保護、でき愛の養育態度を改めることです。具体的には①主体的に行動させる（好きなことを気のすむまで）②思いきり行動したあとは「自分で立ち直るんだよ」と援助することです。ムダと思われる遊びや行動が、次の活動へのエネルギー源になっていることを理解し、じっくりと取り組んでいくことが大切かと思えます。